

Division	バージョン	機能	機能説明
New Features	Version 10.6	JDF Preferences : JDF Preview画像データ生成機能追加	JDFプレビューをONにした場合、PDFの最初のシートでプレビューを作成する機能を追加
New Features	Version 10.6	Mark Profiles Editor : Mark配置の両面指定対応	シートの両面にマークを配置したいケースに対応しました
New Features	Version 10.6	Impostrip Scalable : Nesting機能追加 (オプション機能)	Impostrip ScalableでAutoNesting機能が追加されました
New Features	Version 10.6	Hot FolderジョブでのMulti Templatesサポート (Impostrip Scalableのみ)	Impostrip Scalableでマルチテンプレート機能を利用することが可能になりました
New Features	Version 10.6	Automatic Layout SelectorでSymmetric guttersが追加	Impostrip Automation及びScalable, Automatic Layout Selectorを使用するとき、Symmetric Guttersを有効にすることで、動的にページサイズの間隔を調整できるようになりました。これにより、印刷後の積み重ねや切断が簡単になります。
New Features	Version 10.5	Mark Profile Editorでマークを削除する際の確認画面を追加	これまでMarkを削除する場合、確認メッセージが出ませんでした。
New Features	Version 10.5	サポートバーコードタイプの追加	バーコードでQRコードの利用が可能になりました。
New Features	Version 10.5	Mark Anchor Pointを9個に変更	以前は5個のMark Anchor Pointでしたが、9個なることでより使いやすくなりました
New Features	Version 10.5	Automatic Layout Selector (自動面付テンプレート選択機能)	Automatic Layout Selectorは、さらに自動化を可能にするBest Fit optionを追加しました。
New Features	Version 10.4	Nesting from Library機能追加	Impostrip Automationで、すでにお持ちの型データを参照し、既存の型データを利用してネ스팅処理する機能です。
New Features	Version 10.4	XML re-directionでのPaper Size指定を追加 ※AutoFlowおよびAutoNestingでは次バージョンで追加される予定です	XML Re-Directionを利用して、動的にシートサイズが指定できるようになりました。
New Features	Version 10.4	AutoFlow用バナーページ、バナーシート生成機能追加	AutoFlowでバナーシート/ページ生成が可能になりました。
New Features	Version 10.4	UICLスキーマでのギャンギング面付サポート	UICLスキーマでギャンギング面付をサポートしました。
New Features	Version 10.4	フォーカスのあるページのマークの行と列の方向を定義できる機能を追加	ページにマークをは位置する場合、Mark Profilesはページの上または下から行を定義し、左または右から列を定義することを可能にします
New Features	Version 10.4	UICLに新オプション"output marks before pages"を追加	UICLスキーマで、"Output Marks before Pages"を追加。これによりページの最前面にマークが配置されます (これまでのバージョンでは最背面に配置)
New Features	Version 10.4	Repositoryフォルダサポート (Impostrip Scalable)	XML re-directionでの処理の場合、Repositoryフォルダを設定し、そこにフォルダ内にPDFが存在すれば、
New Features	Version 10.3	ページアウトラインマークが実線に変更	Mark Profilesで設定するPage Outlineが破線から実線に変更になりました。
New Features	Version 10.3	Kolbus Web Folder WF 100の"Collect 1"モードを追加	Kolbus WF-100のコレクトモード"Collect 1"を実装しました。
New Features	Version 10.2	AutoFlowのCut Marks機能拡張	AutoFlowは、GutterやPage Group Maeginが使用されていなくても、用紙の端に近いページにのみカットマークを付けることができます。このオプションは、Cut Markが使用されている限り (Mark Profiles内のBuilt-in Marks) 自動的に行われます。
New Features	Version 10.1 R07	AutoNesting機能 (オプション機能)	ラベルなどの矩形デザインの面付が可能になります。複数のデザインデータを必要な数量を最適配置したPDFを出力します。さらに加工処理のレーザーカッター用にレイアウト情報のDXFファイルも出力が可能です。
New Features	Version 10.1 R07	Kolbus WF-100用面付機能 (オプション機能)	ImpostripはKolbus WF 100 Wef Folderでサポートされている拡張コレクトモードのための新しいナンバリングスキームを追加しました。この機能の使用方法についての詳細は、文書「Kolbus WF100セットアップ」を参照ください。
New Features	Version 10.1 R07	Built-in Mark マーク種別ごとのカラー指定機能追加	Built-in Marksに含まれる各種マークについて、カラー指定やトンボの長さ/太さなどを指定できる拡張機能を追加しました。
New Features	Version 10.1 R07	ユニコードフォント対応	ソフトウェア内の設定でユニコードフォントの利用が可能になりました。
New Features	Version 10.1 R07	バーコードへの部数情報 (PrintCopies) 挿入対応	バーコードで複数部数生産する際に、PrintCopiesを利用して可変情報として部数情報を生成する機能を追加しました。
New Features	Version 10.1 R07	AutoFlow (ギャンギング) のBanner Pageサポート	外部PDFを参照し、Banner Pageに挿入する機能が追加されました
New Features	Version 10.1 R07	自動フレーム長調整機能	用紙の最適化をするために、入力ファイルにより動的に出力サイズが変わる場合、出力ファイルのフレーム長が必要に応じて調整されます。